

「きらり阿波女」

# 人生応援 メッセージ

筆者ご紹介

真言宗御室派別格本山  
管蔵寺 第六十四世住職  
さとう せい にん  
佐藤 盛仁氏

【略歴】北海道大学経済学部経済学科卒業・  
総本山仁和寺内仁和密教学院卒業。高野山  
大学院修士課程 密教学科修了。管蔵寺に入  
山の後、徳島県教育委員会 委員、委員長を  
歴任。他にも多数のキャリア教育関連の講演  
実績があります。

仕事や家事に忙しい「きらり阿波女」たちへ！

人生を楽に生きるためのメッセージを管蔵寺のご住職に伺いました。

以前、「きらり阿波女」の企画に協賛をさせて頂き「輝く女性の皆様へ」のメッセージを掲載したご縁で、このコーナーに寄稿させて頂いていただくこととなりました。僧侶という「いのち」や「こころ」に深いところで向き合う立場から何かお役に立てることがあればと思います。

この世の中、人は一人では生きていません。もし世の中に自分一人しかいなければ、職業と呼ばれるものは、農業であろうか漁業であろうか本来なら自分一人でやらなければいけないことです。職業だけでなく、家事も育児もその他の衣食住に関することも、何もかも自分がやらなければいけないことです。職業に就いている人だけを自立していると呼ぶ人もいますが、それだけが特別扱いではありません。本来やらなければいけない全てのこのうちから一つ（またはいくつか）を職業として選んで懸命にやることにより、残りをやらなくてもいいという幸せな世の中に生かされているというだけのことです。私のような僧侶が生きることや死ぬことについて心ゆくまで考えていてもご飯が食べられるのは、他の皆様が様々な場所で本来私のやらなければいけないことをしてくれているおかげです。だからこそ僧侶は皆様の分も「いのち」や「こころ」の問題にしっかりと向き合い、いつか皆様が走り疲れたとき、または日々の生活に追われて気づかなかつたり先送りにしたりしている心の問題にぶつかったときのお力にならなければいけないと思っています。

このように、自立というのは誰の力も借りずに生きていくということではなく、自分が様々な方々の力を借りながら生かされていることに気づき、それに感謝しながら今の自分ができることをできる形でお返ししていくことだと考えています。

「輝く女性の皆様へ」のメッセージには「女性の数だけ生き方があります。皆様が、女として、妻として、母として、または社会の一員として、他にも様々な場所ですっかりと生きておられる姿は本当に貴いと思います」と書かせていただきました。人は、家族、職場、地域、それ以外にも社会の色々な集まりの中で生きています。それぞれの

集まりの中、思いやりや感謝の心を持ちながら、全てを他人事にすることなく、また、決して一人で全てを背負い込むことなく、今の自分でできることを精一杯行い、確かな日々を送られることをお祈りしています。

## 輝く女性の皆様へ

女性の数だけ生き方があります  
女として、妻として、母として、  
または社会の一員として……  
他にも様々な場所ですっかりと生きておられる姿は  
本当に貴いと思います  
本当に貴いと思います  
皆様の幸せが成就されますよう  
心よりお祈りいたします

管蔵寺 盛仁



三好市池田町  
www.hashikura.or.jp